

## 蠟梅 Now

6月28日から7月8日頃にかけて、西日本を中心に全国的に広い範囲で見られた台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨では、全国の雨量観測点の1割強にあたる138地点で、記録破りの降雨がみられた。そして、200人を超える尊い命を奪った。

豪雨が明けると間髪入れずに、全国的な猛暑が始まった。熊谷市で国内最高気温41.1℃を記録し、観測史上最高気温を塗り替えた地点は全体の1割強の113地点に上った。熱中症による健康被害は深刻化している。

猛暑の原因だった太平洋高気圧が東に後退すると、その縁に沿って台風12号が北上。反時計回りの寒冷渦に巻き込まれ、異例の西進コースを取った。

たまたま役者が揃い、一緒に舞台上上がったと気象庁は評したが、たまったものではない。8月も高気圧に覆われやすくなり、全国的に平年より高温になると予想する。

異常気象がもたらす豪雨も猛暑も、地球温暖化に起因するとの考え方が有力であり、地球温暖化が進行する限り、豪雨も猛暑も増え続けることになる。

エネルギー安全保障に関する議論は活発であるが、その陰に隠れたかのように地球温暖化抑止の議論は影が薄いように思われる。現実をしっかりと見据え、どう対処したらよいか真摯に考えていかなければならない。

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、04年に法人を立ち上げた際に、運営の拠り所となる多額のファンドをご寄付戴いた小山様所縁のもの。これまで、年末年始には可憐で香しい開花が観られてきたが、今シーズンは異例の3月に入ってからの遅い開花となった。地球温暖化による皺寄せではないかと訝っている。

11年11月誕生の実生による二世は、生誕の地西神から筆者宅に貰い受けて以降、経過は順調に見えたが、この越冬後に新芽を出すことはなかった。暫く再生の期待を持って見守ってきたが、昨年の落葉後のジャコメッティの彫刻に例えた枝ぶりに変化は見られない。

「ダメモトで地際の直ぐ上から切る。根が生きていたら根元から芽が出てくる可能性がある。」との情報。最後の試みとし、様子を見る。生誕の地に残る兄弟の一株を貰い受けることも考えて・・・。



### 《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸  
事務局長 大森 信  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4  
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)  
E-mail : info@npo-ffk.or.jp  
URL : <http://www.npo-ffk.or.jp>